





②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス



科目名	Java			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用									
担当教員	亀山 千恵		実務授業の有無	有										
対象学科	情報システム科3年制			単位時間数	104	講義	演習	実習	実験	実技				
必修・選択	必修	対象学年	1	開講時期	前期	△	○							
授業概要、目的、授業の進め方	Javaプログラミングの環境構築から、プログラムの基本理論、発展的な問題解決の手法を学習します。また、サンプルプログラムをもとにキャラクタ・ユーザ・インターフェース（CUI）ベースの簡単的なプログラムを開発しながら、プログラミングで多用される各種アルゴリズムや変数・定数・配列といった基礎理論を学びます。													
学習目標 (到達目標)	サーティファイJavaプログラミング能力認定試験の合格。 Java言語を使用したアプリケーションの開発が出来る。													
テキスト・教材・参考図書・その他資料	スッキリわかるJava入門（インプレス）、その他配付資料													
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考									
1	Javaの環境設定・プログラムの書き方				指定教科書P1～P57、別紙環境設定資料									
2	式と演算子				指定教科書P59～P95									
3	条件分岐と繰り返し				指定教科書P97～P134									
4	配列				指定教科書P137～P167									
5	メソッド				指定教科書P169～P206									
6	複数のクラスを用いた開発				指定教科書P221～P263									
7	オブジェクト指向とは				指定教科書P269～P297									
8	インスタンスとクラス				指定教科書P299～P328									
9	さまざまなクラス機構				指定教科書P331～P372									
10	カプセル化				指定教科書P373～P402									
11	継承とは				指定教科書P407～P494									
12	多態性とは				指定教科書P497～P528									
13	例外処理				指定教科書P561～P598									
14	各章での課題プログラム開発				教員作成資料									
評価方法・成績評価基準					履修上の注意									
課題+期末課題70%、授業態度・学習意欲30%					特になし									
成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。														









②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	進級制作Ⅰ			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	谷内田 茂成		実務授業の有無		無					
対象学科	情報システム科3年制				単位時間数	54	講義	演習	実習	実験
必修・選択	必修	対象学年	1	開講時期	後期		○			
授業概要、目的、授業の進め方	アプリケーション制作の最初から最後のステップまでを個人で行い、アプリケーション開発における総合的なスキルを修得する科目です。企画、仕様設計、プログラミング、ユーザーインターフェースなどのアプリケーション開発をする上で必ず必要となる技術を網羅します。授業の最後には、作品の展示発表会を行い、外部への情報公開とその評価までを行います。									
学習目標 (到達目標)	企画・制作したアプリケーションの完成と発表									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Java、eclipse開発環境、ブラウザ									
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考					
1	進級制作概要説明				プリント資料 概要説明					
2	企画制作				プリント資料 企画の立て方					
3	アプリケーション α版制作				アプリケーション開発に必要な各自資料					
4	アプリケーション α版提出				アプリケーション開発に必要な各自資料					
5	アプリケーション β版制作				アプリケーション開発に必要な各自資料					
6	アプリケーション β版提出				アプリケーション開発に必要な各自資料					
7	アプリケーション マスタ版制作				アプリケーション開発に必要な各自資料					
8	アプリケーション マスタ版提出				アプリケーション開発に必要な各自資料					
9	発表				発表資料の作成 PowerPoint					

(2)

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	Java応用 I			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	亀山 千恵		実務授業の有無		有					
対象学科	情報システム科3年制				単位時間数	54	講義	演習	実習	実験
必修・選択	必修	対象学年	1	開講時期	後期	△	○			
授業概要、目的、授業の進め方	グラフィカル・ユーザ・インターフェース（GUI）ベースのアプリケーションを開発するためのプログラミング環境の構築、ならびにプログラミング技能の習得について、実践的な課題を通して学習します。画面上の二次元座標を用いたペイントツールの開発や、スレッドを利用したストップウォッチ、多くのオブジェクトを一つの画面に配置するカレンダーなどのプログラミングを制作します。									
学習目標 (到達目標)	サーティファイJavaプログラミング能力認定試験の合格。 Java言語を使用した実践的なプログラム開発が出来る。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	教員作成資料、その他配付資料									
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考					
1	開発ツールの環境設定				教員作成資料					
2	レイアウトの利用				教員作成資料					
3	複雑なレイアウトの利用				教員作成資料					
4	コンポーネントの利用				教員作成資料					
5	イベントリスナとは				教員作成資料					
6	プログラムからのコンポーネントの利用				教員作成資料					
7	ファイルの読み書き				教員作成資料					
8	Threadの利用				教員作成資料					



②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	データベース応用			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	亀山 千絵		実務授業の有無		無					
対象学科	情報システム科3年制				単位時間数	27	講義	演習	実習	実験
必修・選択	必修	対象学年	1	開講時期	後期	△	○			
授業概要、目的、授業の進め方	応用情報技術者試験の出題範囲のうち、データベースに関する範囲を体系的に学習します。高度なIT人材となるために必要な応用的知識と技能を持つエンジニアとなるよう、ハイレベルな講義を行います。テクノロジ系の周辺技術要素であるデータベース分野について、テーブル設計、E-Rモデル、正規化理論などを学ぶとともに、高度なSQLを使いこなすための演習を行います。									
学習目標 (到達目標)	応用情報技術者試験の出題範囲のデータベースに関する問題が理解できる。 応用的なSQLが記述できるようになる。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	応用情報技術者試験対策テキスト (TAC) 、その他配付資料									
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考					
1	データベースのモデル				指定教科書P18～P41					
2	正規化				指定教科書P42～P50					
3	SQL言語				指定教科書P51～P80					
4	トランザクション処理				指定教科書P82～P90					
5	DBMS機能				指定教科書P91～P104					









科目名	春期国家試験対策			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用									
担当教員	江村 智史		実務授業の有無	無										
対象学科	情報システム科3年制			単位時間数	120	講義	演習	実習	実験	実技				
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	前期	○								
授業概要、目的、授業の進め方	基本情報技術者試験取得を目標とする対策授業です。 出題頻度の高い過去問題を中心に対策を行っていきます。													
学習目標 (到達目標)	経済産業省主催 基本情報技術者試験 合格													
テキスト・教材・参考図書・その他資料	基本情報技術者 午後問題集（イニネット）													
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考									
1	情報セキュリティ				指定教科書P2～P30									
2	ハードウェア				指定教科書P36～P46									
3	ソフトウェア				指定教科書P50～P62									
4	データベース				指定教科書P68～P80									
5	ネットワーク				指定教科書P86～P98									
6	ソフトウェア設計				指定教科書P102～P118									
7	マネジメント				指定教科書P124～P138									
8	ストラテジ				指定教科書P144～P156									
9	データ構造及びアルゴリズム				指定教科書P160～P198									
10	ソフトウェア開発（表計算）				指定教科書P284～P303									
11	模擬試験①				第1回模擬試験の実施									
12	模擬試験②				第2回模擬試験の実施									
13	模擬試験③				第3回模擬試験の実施									
評価方法・成績評価基準					履修上の注意									
検定結果50%、出席率30%、授業態度・学習意欲20%					特になし									
成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。														

科目名	U-22プログラミングコンテスト			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	山本 由紀子		実務授業の有無	有						
対象学科	情報システム科3年制			単位時間数	96	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	前期			○		
授業概要、目的、授業の進め方	経済産業省／総務省／文部科学省が後援する日本最大規模のプログラミングコンテスト「U-22プログラミングコンテスト」に出品するプログラム作品を作成します。企画、仕様設計、プログラミング、テスト、フィードバックを繰り返し、個人またはグループで1つの作品を作り上げていきます。また、コンテスト入賞に向けて、魅力あるプレゼン資料の作成を行います。									
学習目標 (到達目標)	U-22プログラミングコンテストへの作品を応募する。 審査基準を考慮し、求められる機能を意識した作品制作が出来る。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	アイデア発想			実習（アイデア抽出）						
2	企画立案、企画書作成			実習（企画書作成）						
3	仕様設計			実習（設計書作成）						
4	アルファバージョン制作プログラミング			実習（制作）						
5	テストケース作成、デバッグ			実習（制作）						
6	アルファバージョン提出			定期報告						
7	ベータバージョン制作プログラミング			実習（制作）						
8	テストケース作成、デバッグ			実習（制作）						
9	ベータバージョン提出			定期報告						
10	マスタバージョン制作プログラミング			実習（制作）						
11	テストケース作成、デバッグ			実習（制作）						
12	マスタバージョン提出			定期報告						
13	PV制作			実習（制作）						
14	プレゼン資料作成			実習（制作）						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
作品完成度30%、提出物20%、出席率30%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴		システム開発従事：3年								

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	Java応用 II			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	亀山 千恵		実務授業の有無		有					
対象学科	情報システム科3年制				単位時間数	72	講義	演習	実習	実験
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	前期	△	○			
授業概要、目的、授業の進め方	グラフィカル・ユーザ・インターフェース（GUI）ベースのアプリケーションを開発するためのプログラミング環境の構築、ならびにプログラミング技能の習得について、実践的な課題を通して学習します。UDPやTCP/IPを用いたソケットプログラミングや、JDBCを利用したデータベースアクセスなど、より実際の開発業務に近いプログラミングを学びます。									
学習目標 (到達目標)	OCJP Bronze試験の合格。 Java言語を使用した実践的なプログラム開発が出来る。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	教員作成資料、その他配付資料									
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考					
1	TCP/IPを利用した通信プログラム				教員作成資料					
2	UDPを利用した通信プログラム				教員作成資料					
3	JDBCを利用したプログラム				教員作成資料					
4	OJCPBronzeの試験対策				教員作成資料					

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	Webアプリケーション I			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用			
担当教員	亀山 千恵		実務授業の有無		有			
対象学科	情報システム科3年制			単位時間数	48	講義	演習	実習
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	前期	△	○	実技
授業概要、目的、授業の進め方	ウェブ・ブラウザ上で動作するプログラミングを開発するために、HTML言語の基礎をマスターします。一般的なサイト構成を実現するために、テーブルなどの表現技法を取得します。また、JavaScriptを活用することで、より動的なホームページを構築する技能を学び、今後のWebアプリケーション開発に必要になる基礎技術をしっかりと身に付けます。							
学習目標 (到達目標)	HTML、JavaScriptを利用したWEBアプリケーション開発が出来る。							
テキスト・教材・参考図書・その他資料	教員作成資料、その他配付資料							
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考			
1	Webの基礎知識				教員作成資料			
2	コンテンツ制作基礎				教員作成資料			
3	ページデザイン				教員作成資料			
4	リッチコンテンツデザイン				教員作成資料			
5	サイドデザイン				教員作成資料			









②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	就職実務Ⅰ			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	山本 由紀子		実務授業の有無		無					
対象学科	情報システム科3年制				単位時間数	12	講義	演習	実習	実験
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	後期	△	○			
授業概要、目的、授業の進め方	就職活動を本格的に始める前に、活動をする上での心構え、就職活動の流れを理解します。 職業や業界について調査し、目指す業界、職種について理解を深めます。 また、様々な手法により自己分析を行い、履歴書やエントリーシートで必要となる自己PR文を作成します。									
学習目標 (到達目標)	業界や職種について理解を深め、自己分析を行うことができる。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	勝つための就職ガイドSuccess（ウェブ））、その他配付資料									
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考					
1	就職活動の心構え				指定教科書P1～P13					
2	就職活動の流れ				指定教科書P14～P17					
3	自分自身を知る				指定教科書P18～P26					
4	職業を知る				指定教科書P27～P29					
5	情報収集のポイント				指定教科書P36～P37					

科目名	ベンダー試験対策			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	江村 智史			実務授業の有無	無					
対象学科	情報システム科3年制				単位時間数	81	講義	演習	実習	実験
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	後期	○				
授業概要、目的、授業の進め方	国際的なIT関連資格・認定団体であるCompTIAの試験取得を目標とする対策授業です。出題頻度の高い過去問題を中心に対策を行っていきます。									
学習目標 (到達目標)	CompTIA Security+の合格									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Security+ セキュリティ社会の必修科目（ウチダ人材開発センタ）									
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考					
1	情報セキュリティの概要				指定教科書P1～P11					
2	暗号技術				指定教科書P13～P52					
3	ネットワークと認証の基礎				指定教科書P53～P94					
4	多様なネットワーク技術とセキュリティ				指定教科書P95～P137					
5	攻撃者の概要				指定教科書P139～P180					
6	情報セキュリティポリシーと脆弱性検査				指定教科書P181～P206					
7	認証技術				指定教科書P207～P243					
8	アクセス制御と強化、環境整備、物理セキュリティ				指定教科書P245～P279					
9	無線LAN、モバイル機器、テレワーキングとSNS、仮想化技術				指定教科書P281～P305					
10	モニタリング、ログ、フォレンジックス、冗長構成、事業継続性計画				指定教科書P307～P338					
11	模擬試験①				第1回模擬試験の実施					
12	模擬試験②				第2回模擬試験の実施					
13	模擬試験③				第3回模擬試験の実施					

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	秋期国家試験対策			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用									
担当教員	江村 智史		実務授業の有無	無										
対象学科	情報システム科3年制			単位時間数	120	講義	演習	実習	実験	実技				
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	後期	○								
授業概要、目的、授業の進め方	基本情報技術者試験取得を目標とする対策授業です。 出題頻度の高い過去問題を中心に対策を行っていきます。													
学習目標 (到達目標)	経済産業省主催 基本情報技術者試験 合格													
テキスト・教材・参考図書・その他資料	基本情報技術者 午後問題集													
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考									
1	情報セキュリティ				指定教科書P2～P30									
2	ハードウェア				指定教科書P36～P46									
3	ソフトウェア				指定教科書P50～P62									
4	データベース				指定教科書P68～P80									
5	ネットワーク				指定教科書P86～P98									
6	ソフトウェア設計				指定教科書P102～P118									
7	マネジメント				指定教科書P124～P138									
8	ストラテジ				指定教科書P144～P156									
9	データ構造及びアルゴリズム				指定教科書P160～P198									
10	ソフトウェア開発（表計算）				指定教科書P284～P303									
11	模擬試験①				第1回模擬試験の実施									
12	模擬試験②				第2回模擬試験の実施									
13	模擬試験③				第3回模擬試験の実施									
評価方法・成績評価基準					履修上の注意									
検定結果50%、出席率30%、授業態度・学習意欲20%					特になし									
成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。														

科目名	進級制作 II			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用									
担当教員	山本 由紀子		実務授業の有無	有										
対象学科	情報システム科3年制			単位時間数	54	講義	演習	実習	実験	実技				
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	後期			○						
授業概要、目的、授業の進め方	企画、仕様設計、プログラミング、ユーザーインターフェースなどのアプリケーション開発をする上で必ず必要となる技術を網羅します。授業の最後には、作品の展示発表会を行い、外部への情報公開とその評価までを行うと同時に、魅力あるプレゼンテーションの手法も学びます。													
学習目標 (到達目標)	アプリケーション制作の最初から最後のステップまでを個人、またはグループで行うことで、アプリケーション開発における総合的なスキルを修得する。													
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし													
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考									
1	アイデア発想				実習（アイデア抽出）									
2	企画立案、企画書作成				実習（企画書作成）									
3	仕様設計				実習（設計書作成）									
4	アルファバージョン制作プログラミング				実習（制作）									
5	テストケース作成、デバッグ				実習（制作）									
6	アルファバージョン提出				定期報告									
7	ベータバージョン制作プログラミング				実習（制作）									
8	テストケース作成、デバッグ				実習（制作）									
9	ベータバージョン提出				定期報告									
10	マスタバージョン制作プログラミング				実習（制作）									
11	テストケース作成、デバッグ				実習（制作）									
12	マスタバージョン提出				定期報告									
13	作品展示会の実施				演習（プレゼン）									
評価方法・成績評価基準					履修上の注意									
作品完成度30%、提出物20%、出席率30%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。					特になし									

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	WebアプリケーションII			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用			
担当教員	亀山 千恵		実務授業の有無		有			
対象学科	情報システム科3年制			単位時間数	54	講義	演習	実習
必修・選択	必修	対象学年	2	開講時期	後期	△	○	実技
授業概要、目的、授業の進め方	ウェブ・ブラウザ上で動作するプログラミングを開発するために、サーバーサイドスクリプト言語の基礎をマスターします。Webサーバの機能を拡張し、動的にWebページを生成するために用いられるプログラミング言語の一つであるPHPに習熟することが目的です。WEB上でのログインフォームや掲示板、チャットシステムなどを作成して、Webアプリケーション開発に必要になる技術を身に付けます。							
学習目標 (到達目標)	HTML、JavaScript、PHPを利用したWEBアプリケーション開発が出来る。							
テキスト・教材・参考図書・その他資料	基礎PHP（インプレスジャパン）、その他配付資料							
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考				
1	環境設定			教員作成資料				
2	PHPの基本構文			指定教科書P52～P144				
3	PHPでアプリケーションを作ってみる			指定教科書P146～P205				
4	データベースとPHPの連携			指定教科書P206～P256				
5	ライブラリの利用			指定教科書P258～P338				
6	実習（チームごとに簡易ブログシステム作成）			教員作成資料				

科目名	Oracle DBA			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用			
担当教員	亀山 千恵		実務授業の有無		無			
対象学科	情報システム科3年制			単位時間数	54	講義	演習	実習
必修・選択	選択	対象学年	2	開講時期	後期	△	○	実技
授業概要、目的、授業の進め方	商用データベース製品として多くのシェアを占めるOracle Databaseのインストールと動作環境構築、ならびに運用・保守・カスタマイズの技法を習得します。サーバエンジニアに必須となるデータベース構築に練達することで、エンジニアとしての幅を一段と広げます。併せて、Oracle認定試験であるORACLE MASTER Bronze DBAの合格を目指します。							
学習目標 (到達目標)	ORACLE MASTER Bronze DBAの合格。 Oracleデータベースの運用・保守技法の習得。							
テキスト・教材・参考図書・その他資料	DBA Bronze必修教本 (ASCII)、DBA Bronze問題集 (ASCII)							
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考				
1	Oracleデータベース管理の概要			指定教科書P23～P36				
2	インストールおよびデータベースの作成			指定教科書P39～P66				
3	SQL*Plusの使用			指定教科書P69～P92				
4	Oracleネットワーク環境の構成			指定教科書P95～P132				
5	Oracleインスタンスの管理			指定教科書P135～P171				
6	記憶領域構造の管理			指定教科書P175～P213				
7	セキュリティの管理			指定教科書P215～P256				
8	スキーマ・オブジェクトの管理			指定教科書P259～P293				
9	バックアップ・リカバリの実行			指定教科書P295～P345				
10	データベースの監視およびアドバイザの使用			指定教科書P349～P370				
11	問題集			指定教科書P25～P410				







科目名	春期国家試験対策			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用									
担当教員	江村 智史		実務授業の有無	無										
対象学科	情報システム科3年制			単位時間数	120	講義	演習	実習	実験	実技				
必修・選択	必修	対象学年	3	開講時期	前期	○								
授業概要、目的、授業の進め方	基本情報技術者試験取得を目標とする対策授業です。 出題頻度の高い過去問題を中心に対策を行っていきます。													
学習目標 (到達目標)	経済産業省主催 基本情報技術者試験 合格													
テキスト・教材・参考図書・その他資料	基本情報技術者 午後問題集（イニネット）													
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考									
1	情報セキュリティ				指定教科書P2～P30									
2	ハードウェア				指定教科書P36～P46									
3	ソフトウェア				指定教科書P50～P62									
4	データベース				指定教科書P68～P80									
5	ネットワーク				指定教科書P86～P98									
6	ソフトウェア設計				指定教科書P102～P118									
7	マネジメント				指定教科書P124～P138									
8	ストラテジ				指定教科書P144～P156									
9	データ構造及びアルゴリズム				指定教科書P160～P198									
10	ソフトウェア開発（表計算）				指定教科書P284～P303									
11	模擬試験①				第1回模擬試験の実施									
12	模擬試験②				第2回模擬試験の実施									
13	模擬試験③				第3回模擬試験の実施									
14														
15														
評価方法・成績評価基準					履修上の注意									
検定結果50%、出席率30%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。					特になし									

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	U-22プログラミングコンテスト			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	山本 由紀子		実務授業の有無	有						
対象学科	情報システム科3年制			単位時間数	120	講義	演習	実習	実験	実技
必修・選択	必修	対象学年	3	開講時期	前期			○		
授業概要、目的、授業の進め方	経済産業省／総務省／文部科学省が後援する日本最大規模の「U-22プログラミングコンテスト」に出品するプログラム作品を作成します。企画、仕様設計、プログラミング、テスト、フィードバックを繰り返し、個人またはグループで1つの作品を作り上げます。また、コンテスト入賞に向けて、魅力あるプレゼン資料の作成を行います。									
学習目標 (到達目標)	U-22プログラミングコンテストへの作品を応募する。 審査基準を考慮し、求められる機能を意識した作品制作が出来る。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考						
1	アイデア発想			実習（アイデア抽出）						
2	企画立案、企画書作成			実習（企画書作成）						
3	仕様設計			実習（設計書作成）						
4	アルファバージョン制作プログラミング			実習（制作）						
5	テストケース作成、デバッグ			実習（制作）						
6	アルファバージョン提出			定期報告						
7	ベータバージョン制作プログラミング			実習（制作）						
8	テストケース作成、デバッグ			実習（制作）						
9	ベータバージョン提出			定期報告						
10	マスタバージョン制作プログラミング			実習（制作）						
11	テストケース作成、デバッグ			実習（制作）						
12	マスタバージョン提出			定期報告						
13	PV制作			実習（制作）						
14	プレゼン資料作成			実習（制作）						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意						
作品完成度30%、提出物20%、出席率30%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。				特になし						
実務経験教員の経歴		システム開発従事：3年								











②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

(2)

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	就職実務III			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	江村 智史		実務授業の有無		無					
対象学科	情報システム科3年制				単位時間数	36	講義	演習	実習	実験
必修・選択	必修	対象学年	3	開講時期	前期	△	○			
授業概要、目的、授業の進め方	個別相談を隨時行いながら各個人の適性にあった業種・職種・企業をマッチングします。就職内定することを目指しに履歴書の作成や、面接試験練習、筆記試験を突破するための一般常識やS P I 試験の徹底対策を行います。また、企業説明会や合同企業ガイダンスへの参加を通して、社会人として必要な知識とマナーを身につけます。									
学習目標 (到達目標)	就職内定を目指し、企業で通用する履歴書の作成及び面接試験を突破するための自己表現が出来るようになります。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配付資料									
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考					
1	業界研究（どのような業界・職種があるのか、どのような仕事・会社を選ぶのか？）				配布資料					
2	履歴書・エントリーシートの作成方法				履歴書演習					
3	SPI（非言語系）				配布プリント					
4	SPI（言語系）				配布プリント					
5	面接試験練習（個人）				模擬面接演習					
6	面接試験練習（グループ面接）				模擬面接演習					
7	面接試験練習（グループワーク）				模擬面接演習					



②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	秋期国家試験対策			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用									
担当教員	江村 智史		実務授業の有無	無										
対象学科	情報システム科3年制			単位時間数	120	講義	演習	実習	実験	実技				
必修・選択	必修	対象学年	3	開講時期	後期	○								
授業概要、目的、授業の進め方	基本情報技術者試験取得を目標とする対策授業です。 出題頻度の高い過去問題を中心に対策を行っていきます。													
学習目標 (到達目標)	経済産業省主催 基本情報技術者試験 合格													
テキスト・教材・参考図書・その他資料	基本情報技術者 午後問題集													
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考									
1	情報セキュリティ				指定教科書P2～P30									
2	ハードウェア				指定教科書P36～P46									
3	ソフトウェア				指定教科書P50～P62									
4	データベース				指定教科書P68～P80									
5	ネットワーク				指定教科書P86～P98									
6	ソフトウェア設計				指定教科書P102～P118									
7	マネジメント				指定教科書P124～P138									
8	ストラテジ				指定教科書P144～P156									
9	データ構造及びアルゴリズム				指定教科書P160～P198									
10	ソフトウェア開発（表計算）				指定教科書P284～P303									
11	模擬試験①				第1回模擬試験の実施									
12	模擬試験②				第2回模擬試験の実施									
13	模擬試験③				第3回模擬試験の実施									
評価方法・成績評価基準					履修上の注意									
検定結果50%、出席率30%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。					特になし									

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	卒業制作			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	江村 智史			実務授業の有無	有					
対象学科	情報システム科3年制				単位時間数	105	講義	演習	実習	実験
必修・選択	必修	対象学年	3	開講時期	後期			○		
授業概要、目的、授業の進め方	在学中に習得した技能を駆使して、アプリケーション制作を個人、またはグループで行うことで、アプリケーション開発における総合的なスキルを修得します。企画、仕様設計、プログラミング、ユーザーインターフェースなどのアプリケーション開発をする上で必ず必要となる技術を網羅します。授業の最後には、作品の展示発表会を行い、外部への情報公開とその評価までを行うと同時に、魅力あるプレゼンテーションの手法も学びます。									
学習目標 (到達目標)	オリジナルアプリケーションの完成									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	教員作成資料									
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考					
1	テーマ選定・企画作成				教員作成資料					
2	企画プレゼンテーション				教員によるフィードバック					
3	$\alpha$ 版制作				学生個人PCでの作業					
4	$\alpha$ 版制作				学生個人PCでの作業					
5	中間プレゼンテーション				教員によるフィードバック					
6	$\beta$ 版制作				学生個人PCでの作業					
7	中間プレゼンテーション				教員によるフィードバック					
8	完成版制作				学生個人PCでの作業					
9	最終プレゼンテーション				教員によるフィードバック					



科目名	Network Security			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	渡辺 雄太			実務授業の有無	有					
対象学科	情報システム科3年制				単位時間数	54	講義	演習	実習	実験
必修・選択	選択	対象学年	3	開講時期	後期	△	○			
授業概要、目的、授業の進め方	企業ネットワーク内に存在するデジタル情報資産を保護するための防衛策を学び、コンピュータネットワークを安全運用を維持するための防衛策を習得します。具体的にはエクスプロイトコード、クラッキングなど技術的な側面をはじめ、情報漏えい、遠隔操作など過去の事件事例を研究することで、ネットワークセキュリティを確保するために必要な素養を鍛えます。									
学習目標 (到達目標)	ハッカーが使用する攻撃方法を通じて、ネットワークセキュリティに必要な調査能力を習得する									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	LINUX、WINDOWS、その他配付資料									
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考					
1	エクスプロイトコードとPOC				LINUX、WINDOWS、及び配布資料					
2	インシデント事例とセキュリティ情報収集実習				LINUX、WINDOWS、及び配布資料					
3	脆弱性情報収集演習				LINUX、WINDOWS、及び配布資料					
4	ハッキングで多用されるコマンド、ツール演習①				LINUX、WINDOWS、及び配布資料					
5	ハッキングで多用されるコマンド、ツール演習②				LINUX、WINDOWS、及び配布資料					
6	脆弱性のあるOSを使用した脆弱性検証実習①				LINUX、WINDOWS、及び配布資料					
7	脆弱性のあるOSを使用した脆弱性検証実習②				LINUX、WINDOWS、及び配布資料					
8	攻撃成立時、失敗時のログ調査演習①				LINUX、WINDOWS、及び配布資料					
9	攻撃成立時、失敗時のログ調査演習②				LINUX、WINDOWS、及び配布資料					



科目名	ビジネスマナー			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用					
担当教員	江村 智史			実務授業の有無	無					
対象学科	情報システム科3年制				単位時間数	27	講義	演習	実習	実験
必修・選択	必修	対象学年	3	開講時期	後期	○				実技
授業概要、目的、授業の進め方	<p>卒業後は社会人として、年齢、考え方、立場の違う様々な人々と関わりながら、意思疎通を図り、協力しながら仕事をすることが求められます。</p> <p>この授業では、すべての職場・職種で共通して求められる「社会人として働くマナーやルール」を知り、その習得を目指します。</p>									
学習目標 (到達目標)	コミュニケーション力を向上し、社会人として円滑な人間関係を築くための基礎を身につけることが出来るようになる。 基本的なマナーを体得し、社会人としての立ち振る舞いが出来るようになる。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料	社会人常識マナー検定テキスト 2・3級、その他配付資料									
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考					
1	ビジネス計算				指定教科書P1～P13					
2	ビジネスコミュニケーション				指定教科書P14～P17					
3	社会人にふさわしい言葉遣い				指定教科書P18～P26					
4	ビジネス文書の活用				指定教科書P27～P29					
5	職場のマナー				指定教科書P30～P35					
6	来客対応				指定教科書P36～P37					
7	電話対応				指定教科書P38～P51					
8	交際業務				指定教科書P52～P58					
9	文書類の受け取りと発送				指定教科書P59～P65					
10	会議				指定教科書P66～P69					
11	ファイリング				指定教科書P70～P81					

②

新潟コンピュータ専門学校 シラバス

科目名	自然科学概論			授業形態	対面授業/遠隔授業の併用			
担当教員	小田 尚智		実務授業の有無		無			
対象学科	情報システム科3年制				単位時間数	27	講義	演習
必修・選択	必修	対象学年	3	開講時期	後期	○	実習	実験
授業概要、目的、授業の進め方	我々の日常生活を科学的な視点でみていくことで、一般常識としての知識だけでなく、様々な視点から物事を客観的にみる力を養います。また、質問形式で授業を行うことで、自分の意見をまとめ、人に伝える力を身につけます。							
学習目標 (到達目標)	様々なことに関心を持ち、新たに学んだことについて、自分の理解や意見を述べることができる。 科学的な考え方にもとづいて問題を分析できる。							
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料							
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考			
1	自然科学について				配布資料			
2	自然科学の分類				配布資料			
3	自然科学の基礎				配布資料			
4	自然科学の応用				配布資料			
5	身の回りにおける自然科学				配布資料			
6	課題によるレポート作成				レポート提出			